



環境情報流通実証実験 川中企業事例紹介

株式会社村田製作所
嶋巻 敬一



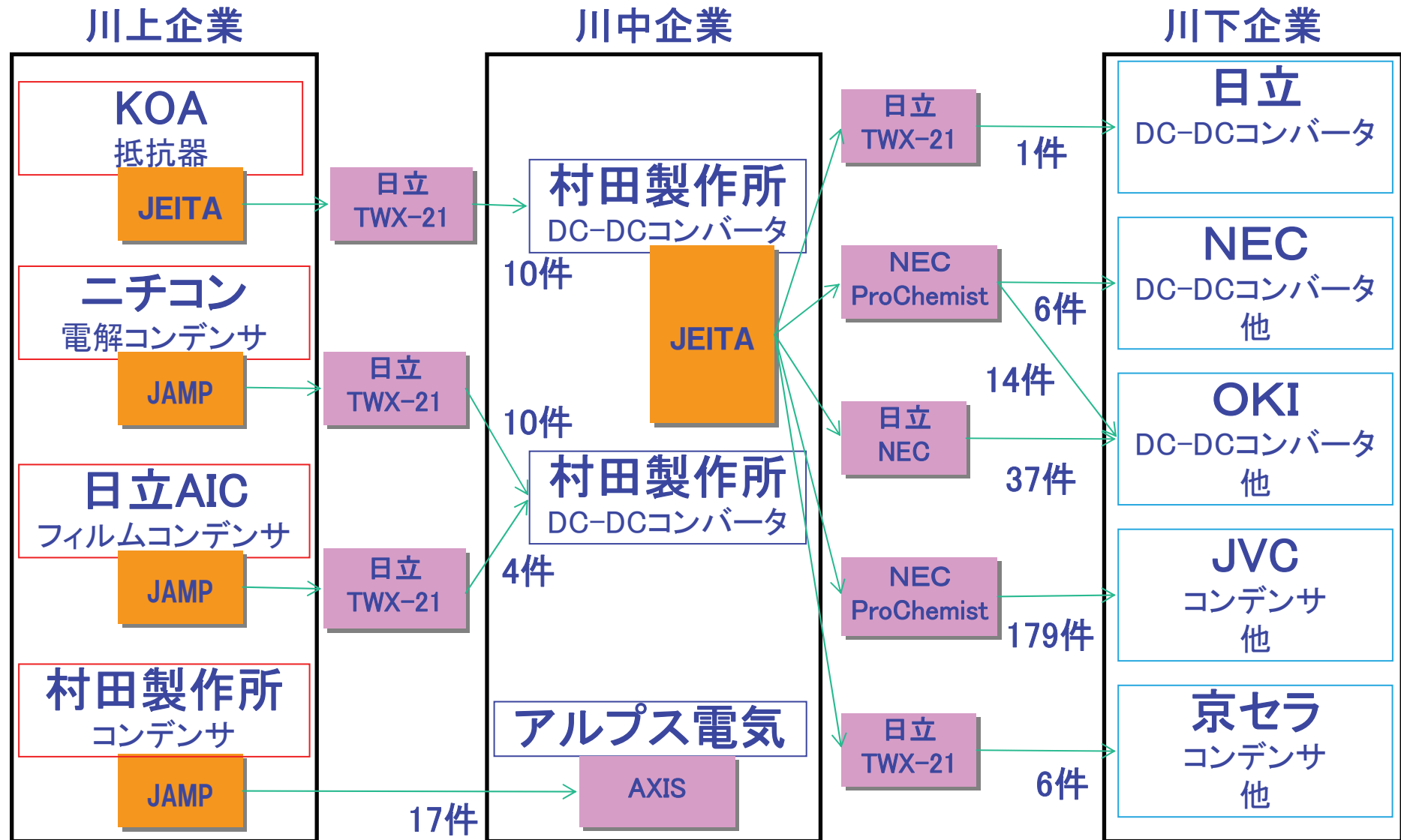
— 目 次 —

1. 実験の目的
2. 実験相手企業とパターン
3. 実験結果
4. まとめ

1. 実験の目的

- 1－1. 弊社各商品部で、JAMP/AIS作成ツールにて作成したAISをJEITA/AIS作成支援ツールにて内容を確認し、問題ないこと。
- 1－2. 電源商品部から入手したDC-DCコンバータのAISデータについて、構成部品のコンデンサを別途AIS入手し、JEITA/AIS作成支援ツールで再複合化させ、問題の無いこと。
- 1－3. 上記で作成したAISデータを各ASP経由で送信し、問題の無いこと。
- 1－4. 川上企業3社からのAISデータを問題なく受信できること。

2. 実験相手企業とパターン



3. 実験結果

3-1. 報告物質の空欄に、入ってはいけない

単位「g」「mg」が残っていた。→JAMP改善

3-2. 再複合化は問題なかった。

3-3. 各ASPとも問題なく送信できた。

3-4. データをいただいた1社に弊社と同じ3-1.

のエラーがあったが、修正して再送いただいた。他2社は問題なかった。

4. まとめ

4－1. 実験自体に大きな問題はなく、当初の
目的は達成できた。

4－2. JAMPツールの改善要望事項は、
JEITA/ECセンターより願います。

4－3. AIS/MSDSplusが、今後業界さらには
業際標準となっていくことを期待する。